

## サンゴ学習ルーブリック

### ～サンゴ学習の到達度を評価する～

- サンゴ学習を体験する前と後の学習到達度を4段階で評価する手法です。
- 基礎知識の理解度とサンゴ礁保全に対する意識の変化が一目でわかります。
- わくわくサンゴ石垣島が自分たちの活動の効果を客観的に評価するために開発しました。

#### 『サンゴ博士テスト』

- ・学習前と学習後に同一の『サンゴ博士テスト』を受けてもらいます。
- ・『サンゴ博士テスト』には小学5・6年生用と中学生用の2種類があります。
- ・『サンゴ博士テスト』の実施時間は10分です。
- ・小学5・6年生はA4片面15問、中学生用はA4両面16問からなります。
- ・学習前後の解答の変化を『サンゴ学習ルーブリック』を通して4段階で評価します。

#### 『サンゴ学習ルーブリック』

- ・ルーブリックとは評価指標が曖昧になりがちな課題を明確化する方法です。
- ・ルーブリックは一般的に個人の達成度を測るために利用されますが『サンゴ学習ルーブリック』ではサンゴ学習を体験したクラスや学年全体をひとまとまりの対象として評価します。
- ・『サンゴ学習ルーブリック』ではサンゴ学習を通して「伝えたい情報や育てたい興味・態度」を明確にし、小学5・6年生用で15項目、中学生用で18項目に整理しました。
- ・サンゴ学習体験者全員の『サンゴ博士テスト』の解答を『サンゴ学習ルーブリック』の各項目にある評価基準に照らし合わせて、学習体験者集団がそれぞれの項目についてS・A・B・Cのどの段階にあるかを到達度として判断します。
- ・学習前後の結果を比較することで、それぞれの項目についての到達度の変化を知ることができます。
- ・到達度の変化を学習プログラムの変更や改善の指標とすることができます。